

LOCK STAR-PS LOCK STAR-PSU

『LOCK STAR-PS(PS25)』は、世界ではじめて DOS/V マシンにおいて RS232C ポートとプリンタポートで共有できるという最新のテクノロジーを駆使して作製されたプロテクターであり、また、任意に様々な言語等に対応できるプロテクターでもあります。

さらに、LOCK STAR-PS(PS25)の機能性・操作性をそのままに、最新の USB テクノロジーに対応したプロテクターが『LOCK STAR-PSU』です。

実際にご使用いただいて、ご意見・ご要望等がございましたら、是非弊社までお寄せ下さい。
『LOCK STAR-PS』『LOCK STAR-PSU』は、ユーザーの皆様と共に、進化・発展してゆく所存でございます。

なお、本マニュアルの作成には、万全を期しておりますが、万一お気づきの点や、ご不明な点がございましたら弊社までご一報いただければ幸いです。

また、マニュアルの内容及び製品のデザインや仕様は、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【LOCK STAR】はロジカルテック(株)の登録商標です。

MS-DOSはマイクロソフト社の登録商標です。

MS-Windows はマイクロソフト社の登録商標です。

その他、本書に記載されている商品名はそれぞれの発売元あるいは製造元の登録商標です。

本書の著作権は、弊社に帰属しますので、ご自分でお使いになる以外、許可なく複写・複製等の行為を禁じます。

ソフトウェア使用許諾契約書

この度は、弊社製品をお求めいただき、誠にありがとうございます。以下ソフトウェア使用許諾契約書(以下「本契約書」)を充分にお読み下さい。

本契約書は、下記に示されたロジカルテック株式会社(以下「ロジカルテック」)のソフトウェアプログラム(以下「本ソフトウェア」)に関してお客様とロジカルテックとの間に締結される法的な契約書です。本ソフトウェアは、本契約に基づきお客様に提供されるコンピュータソフトウェア及びそれに関連した媒体、ならびに印刷物(マニュアルなどの文書)をいい、「オンライン」または電子文書を含むこともあります。

製品名: LOCK STAR シリーズ

第1条(使用許諾)

ロジカルテックは、本ソフトウェアをロジカルテックのハードウェア製品「LOCK STAR シリーズ」のみにおいて使用できる使用権をお客様に許諾します。

第2条(無体財産権)

本ソフトウェアに関する著作権その他の知的財産権はロジカルテックに帰属するものであり、本契約は、本ソフトウェアに関する著作権その他の知的財産権をお客様に移転するものではありません。

第3条(改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルの制限)

お客様は、本ソフトウェアを改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルしてはなりません。

第4条(保証)

ロジカルテックは本ソフトウェアに関して以下の保証のみを行います。なお、この保証は日本国内のみにおいて有効とします。

1. お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から1年以内にロジカルテックが本ソフトウェアの誤りの修正を行ったときは、ロジカルテックはその修正内容をお客様に提供するものとします。ただし、ロジカルテックがその裁量により情報の提供を決定した場合に限りです。
2. 本ソフトウェアの記録媒体に、本ソフトウェアの使用に支障を来すような物理的欠陥があった場合には、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から30日以内にご連絡をいただければ、ロジカルテックは当該記録媒体を無償で交換するものとします。(ただし、ロジカルテックが当該欠陥をロジカルテックの責任と認めた場合に限りです。)これをもって記録媒体に関してロジカルテックが行う唯一の保証とします。

第5条(免責)

1. ロジカルテックは、本ソフトウェアに関して前条の保証以外にはいかなる保証も行わないものとし、前条の場合以外に、本ソフトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任及び費用負担によって処理されるものとします。
2. ロジカルテックは、本ソフトウェア及びその関連印刷物並びに本ソフトウェアとともに提供するハードウェアに関して、商業的に有用であること、特定の目的に適合すること等の保証を含む、一切の保証を明示的にも黙示的にも行わないものとし、
3. ロジカルテックは、本ソフトウェアの使用により生じる、商業的利益の逸失、商業の支障、その他一切の損害について、いかなる場合でも(たとえかかる損害の生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても)いかなる責任をも負わないものとし、

第6条(管轄裁判所)

本契約書に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

このマニュアルの読み方(目次)

『LOCK STAR-PS』『LOCK STAR-PSU』のマニュアルは、以下から構成されています。

表紙	P1
ソフトウェア使用許諾契約書	P2
このマニュアルの読み方(目次)	P3
『LOCK STAR-PS』『LOCK STAR-PSU』の製品構成	P4
1章 『LOCK STAR-PS/PSU』の概要	P5
§1 機能と特徴	P6
§2 対象機種と対象OS・言語	P6
§3 ユーティリティ CD-ROM のファイル構成	P7
§4 『LOCK STAR-PS/PSU』接続方法	P9
§5 『LOCK STAR-PSU』ドライバインストール (Windows98/Me/2000/XP の場合)	P10

『LOCK STAR-PS』『LOCK STAR-PSU』の主な機能の説明に始まり、ユーティリティの種類や接続方法などを分かりやすく説明しています。また、ご使用に際しましては付録の「使用上の注意」を必ずお読み下さい。

2章 WINDOWS 編	P11
§1 作業の手順	P12
§2 コードの設定	P13
§3 WLINK、LTPManager を使用したコピープロテクトについて	P18
§4 WINDOWS でユーティリティを使用する場合の注意	P21
§5 DLL コールでの API 組み込みによるコピープロテクトについて	P22
§6 デモファイルの解説	P23
§7 『LOCK STAR-PS』から『LOCK STAR-PSU』への移行手順	P28
§8 WINDOWS に於けるチェック手順のフローチャート	P29

WINDOWS での使用方法を、それぞれの参考例をもとに詳しく説明しています。

付録	P30
1 エラーコード表	P30
2 使用上の注意	P32
3 製品紹介	P33
4 トラブル時の連絡法	P34
5 トラブルシート	P35

簡単なエラーコードを記載しています。

*** DOS 版操作マニュアルを別途ご希望のお客様は弊社までお問い合わせ下さい。**

『LOCK STAR-PS』『LOCK STAR-PSU』の製品構成

LOCK STAR-PS・LOCK STAR-PSU は以下の構成になっています。

- I.ユーティリティ CD-ROM
LOCK STAR-PS・LOCK STAR-PSU をお使いいただく為の、ユーティリティやオブジェクトファイルがまとめられています。(基本的に1ユーザー1枚のみのご提供です)
- II.マニュアル(取扱い説明書。PDF ファイルとしてユーティリティ CD-ROM 内にございます。)
LOCK STAR-PS・LOCK STAR-PSU をお使いいただく上での、基本的な使用方法や、機能説明、参考となる使い方などについて解説しています。
- III.LOCK STAR-PS・LOCK STAR-PSU 本体
ユーティリティディスク及びマニュアルは、初期販売時のみ添付致します。その後は、LOCK STAR-PS 本体及び変換アダプター、・LOCK STAR-PSU 本体の販売となります。
- IV.オプション(9ピン/25ピン)変換アダプター(LOCK STAR-PS25のみ)
DOS/Vを使用する場合、シリアルポートが9ピンの機種は、変換アダプターによって LOCK STAR-PS25 を接続します。

『LOCK STAR-PS』『LOCK STAR-PSU』基本仕様

- 温湿度条件
0~40℃、20~80%(ただし、結露しないこと)
- 外形寸法
LOCK STAR-PS25:幅55mm×奥行33mm(コネクタ部含む44mm)×高さ13.5mm
(付属品は含まず)

LOCK STAR-PSU:幅 16 mm×奥行59mm×高さ8mm
- 重 量
LOCK STAR-PS25:約36g

LOCK STAR-PSU:約8g
- ハードウェア保証期間
1年間(購入日より)

第 1 章

『LOCK STAR-PS』『LOCK STAR-PSU』の概要

§ 1	機能と特徴	P6
§ 2	対象機種と対象OS・言語	P6
§ 3	ユーティリティ CD-ROM のファイル構成	P7
§ 4	『LOCK STAR-PS/PSU』接続方法	P9
§ 5	『LOCK STAR -PSU』ドライバインストール (Windows98/Me/2000/XP の場合)	P10

1-1.機能と特長

『LOCK STAR-PS』は、シリアルポートとプリンタポート共用の25ピンタイプです。製品としてはソフトウェアとハードウェアで構成され、ハードウェアに対してユーザーが任意のコードを設定することができます。

WINDOWS用のユーティリティと豊富なインターフェースソフトは、さまざまなニーズに対応しており、16ビット、32ビット用のダイレクトリンクユーティリティ(WINDOWS用)も準備しています。

『LOCK STAR-PSU』はWINDOWS98/Me/2000/XP上でUSBポートに接続し、『LOCK STAR-PS』と同様にお使いいただけます。今まで『LOCK STAR-PS』をお使いのユーザー様もドライバ・DLL等を入れ替え、USBポートの指定を行うだけでそのままお使いいただけます。

1-2.対象機種と対応OS・言語

『LOCK STAR-PS』対象機種と対応OS・言語

● 機種

NEC PC-9821シリーズ(PSのみ)

DOS/Vパソコン

注) 機種等で機種により正常に動作しない場合がございます。その場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

● OS

MS-Windows 95

MS-Windows 98

MS-Windows Me

MS-Windows NT4.0

MS-Windows 2000

MS-Windows XP

● 言語

WINDOWSの場合: DLLとリンクできる任意の言語

● その他

上記記載以外のOSおよび言語については、弊社へお問い合わせ下さい。可能な限り開発に応じさせていただきます。また、費用が発生する場合がございますので、予めご了承下さい。

『LOCK STAR-PSU』対象機種と対応OS・言語

● 機種

DOS/Vパソコン

注) 機種により正常に動作しない場合がございます。その場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

● OS

MS-Windows 98

MS-Windows Me

MS-Windows 2000

MS-Windows XP

● 言語

Windowsの場合: DLLとリンクできる任意の言語

● その他

上記記載以外のOSおよび言語については、弊社へお問い合わせ下さい。可能な限り開発に応じさせていただきます。また、費用が発生する場合がございますので、予めご了承下さい。

1-3.ユーティリティ CD-ROM のファイル構成

LOCK STAR-PS/PSU のインターフェースソフト及びユーティリティの構成をツリーで以下に示します。

Win

```

|---api16 : 16 ビット用アプリケーションインターフェース (LOCK STAR-PS 専用)
|   |---Nt95dll.dll-----WindowsNT4.0/2000/XP 用ファイル
|   |---W95dll16.dll-----Windows95/98/Me 用ファイル
|   |---W95t16.dll-----Windows95/98/Me 用ファイル
|   |---W95t32.dll-----LOCK STAR-95 と互換するインターフェース
|   |---Wpsdll16.dll-----LOCK STAR-PS インターフェース
|
|---api32 : 32 ビット用アプリケーションインターフェース
|   |---Usbdll32.dll-----USB インターフェース
|   |---w95dll32.dll-----LOCK STAR-95 と互換するインターフェース
|   |---w95dll32.lib-----LOCK STAR-95 と互換するインターフェース
|   |---wpsdll32.dll-----LOCK STAR-PS/PSU インターフェース
|   |---wpsdll32.lib-----LOCK STAR-PS インターフェース
|
|---demo : デモファイル
|   |---Psvb32.txt-----VisualBasic のデモファイル
|   |---Pswin16.c-----16 ビット用 C デモファイル
|   |---Pswin16.def-----16 ビット用 C デモファイル
|   |---Pswin32.c-----32 ビット用 C デモファイル
|   |---pswin32D.c-----32 ビット用 C デモファイル
|
|---NTsys32:WindowsNT4.0/2000 用ドライバ
|   |---Instdrv.exe-----LOCK STAR-PS 用ドライバインストールファイル
|   |---Krnldrps.sys-----WindowsNT4.0/2000/XP アプリケーションドライバ (LOCK STAR-PS のみ)
|   |---LtpSETUP.sys-----LOCK STAR-PS 用 WindowsNT4.0 セットアップ用ドライバ
|
|---setup32 : データセットファイル
|   |---ltpSETUP.exe-----セットアップ用ユーティリティファイル
|   |---ltpssset32.dll-----セットアップ用ユーティリティファイル
|   |---95nt_setup (Windows95/NT4.0 用データセットファイル)
|       |---ltpSETUP.exe-----セットアップ用ユーティリティファイル
|       |---ltpssset32.dll-----セットアップ用ユーティリティファイル
|
|---vxd : Windows95/98/Me 用仮想デバイスドライバ (LOCK STAR-PS 専用)
|   |---ltpcs95.vxd-----16 ビット・32 ビット共通仮想デバイスドライバ
|   |---ltpcs98.vxd-----16 ビット・32 ビット共通仮想デバイスドライバ
|
|---WLINK16 : 16 ビット実行ファイルのプロテクト用ユーティリティ (LOCK STAR-PS 専用)
|   |---Nt95dll.dll-----インターフェースファイル
|   |---W95t16.dll-----インターフェースファイル
|   |---W95t16.dll-----インターフェースファイル
|   |---Wpsdll16.dll-----インターフェースファイル
|   |---WLINK16.exe-----プロテクト用ユーティリティ 『WLINK16』 実行ファイル
|
|---WLINK32 : 32 ビット実行ファイルのプロテクト用ユーティリティ
|   |---ltpsdll.dll-----『LTPManager』用インターフェースファイル
|   |---LTPManager.exe-----プロテクト用ユーティリティ 『LTPManager』 実行ファイル
|   |---dll32.dll-----『WLINK32』用インターフェースファイル
|   |---WLINK32.exe-----プロテクト用ユーティリティ 『WLINK32』 実行ファイル
    
```

LOCK STAR-PS-LOCK STAR-PSU

Driver : Windows98/Me/2000/XP 用 USB ドライバ (LOCK STAR-PSU 専用)

|---ltUSBKEY.inf-----LOCK STAR-USB ドライバ
|---LTusbKey.sys-----LOCK STAR-USB ドライバ

DrvInst : USB ドライバインストール用ユーティリティ (LOCK STAR-PSU 専用)

|---LtusbDrvInst.exe-----LOCK STAR-PSU ドライバインストールユーティリティ
|---LTUsbInt.dll-----『LtusbDrvInst.exe』用インターフェース
|---readme.txt-----『LTUsbInt.dll』の説明

dos

-----nec : PC98 用 MS-DOS ユーティリティ

-----rs:RS232C インターフェース
-----Psasmcom.obj : ASSEMBLER モデル
-----Pslat16m.obj : LATTICE-C16M モデル
-----Pslatl.obj : LATTICE-C ラージモデル
-----Pslatm.obj : LATTICE-C ミディアムモデル
-----Pslats.obj : LATTICE-C スモールモデル
-----Psmc16m.obj : MS-C,TURBO-C16M モデル
-----Psmcsl.obj : MS-C,TURBO-C ラージモデル
-----Psmscm.obj : MS-C,TURBO-C ミディアムモデル
-----Psmscs.obj : MS-C,TURBO-C スモールモデル
-----Psnbas.com : N88BASIC 用インターフェースモジュール
-----Psqbas.obj : QUICK-BASIC モデル
-----Pstpas.obj : TURBO-PASCAL モデル
-----PSETUP.exe---- DOS 用I.Dセットアップファイル
-----Pslink.com---- DOS 用ダイレクトリンクファイル

-----pcat : PCAT 用 MS-DOS ユーティリティ

-----ptr:プリンタポート用インターフェース
-----Pslat16m.obj : LATTICE-C16M モデル
-----Pslatl.obj : LATTICE-C ラージモデル
-----Pslatm.obj : LATTICE-C ミディアムモデル
-----Pslats.obj : LATTICE-C スモールモデル
-----Psmc16m.obj : MS-C,TURBO-C16M モデル
-----Psmcsl.obj : MS-C,TURBO-C ラージモデル
-----Psmscm.obj : MS-C,TURBO-C ミディアムモデル
-----Psmscs.obj : MS-C,TURBO-C スモールモデル
-----Psqbas.obj : QUICK-BASIC モデル
-----Pstpas.obj : TURBO-PASCAL モデル

-----rs:RS232C ポート用インターフェース

-----Pslat16m.obj
-----Pslatl.obj
-----Pslatm.obj
-----Pslats.obj
-----Psmc16m.obj
-----Psmcsl.obj
-----Psmscm.obj
-----Psmscs.obj
-----Psqbas.obj
-----Pstpas.obj

} 同左

-----PSETUP.exe---- 英語 DOS 用I.Dセットアップファイル
-----PSETUPJ.exe-- 日本語 DOS 用I.Dセットアップファイル
-----Psutil.exe---- ダイレクトI.Dセットアップ用ファイル
-----Pslink.com---- DOS 用ダイレクトリンクファイル

-----Psdemo.c: MS-DOS 用 C テモファイル

test

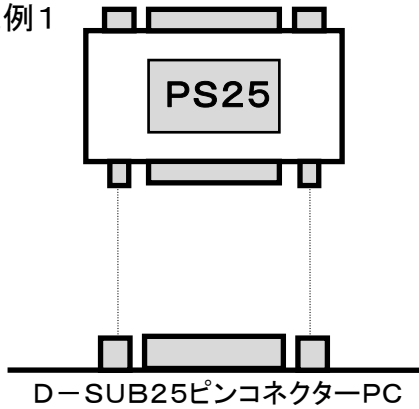
-----Psutest.exe----LOCK STAR-PS 接続チェック用アプリケーション

-----Readme.txt---- Psutest.exe の操作説明

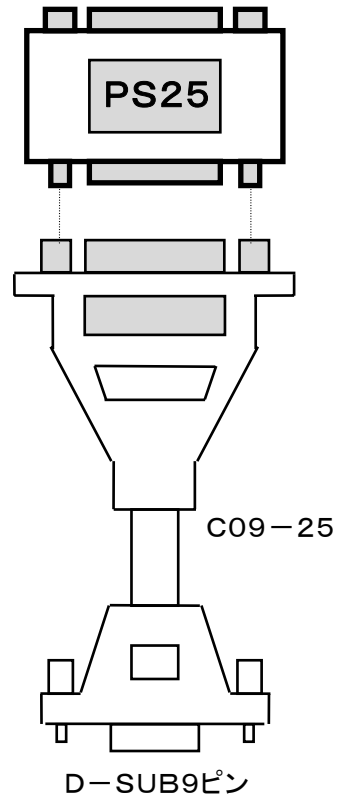
1-4.『LOCK STAR-PS/PSU』接続方法

LOCK STAR-PS25は、次の接続図を参考にして接続して下さい。

接続例1

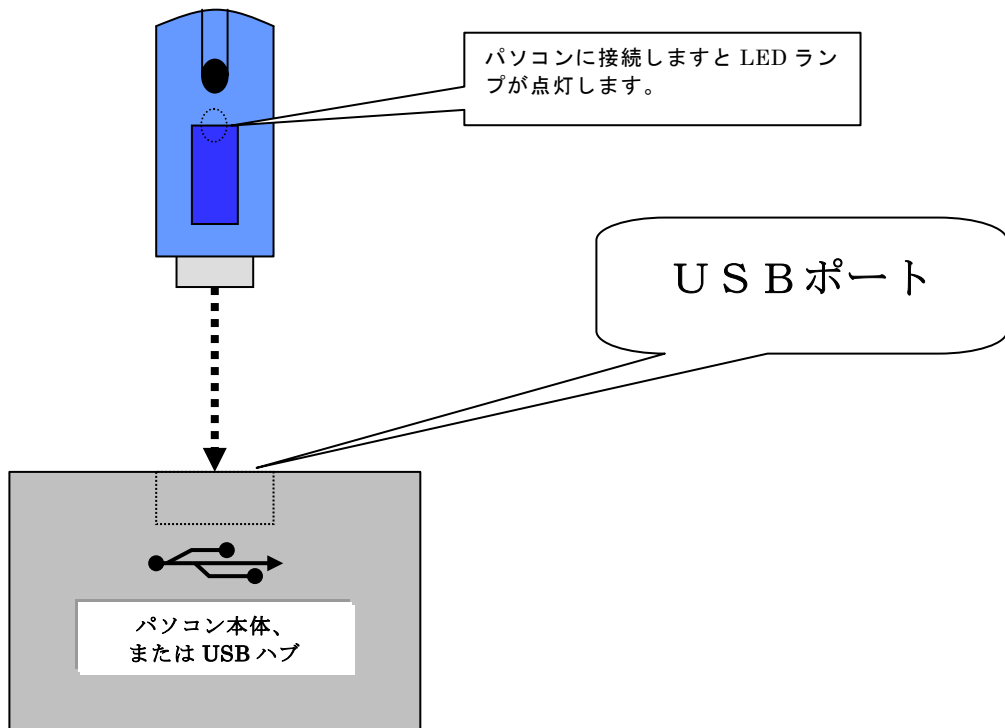


接続例2



LOCK STAR-PSU は、次の接続図を参考にして接続して下さい

接続例3



1-5.『LOCK STAR-PSU』のドライバインストール (Windows98/Me/2000/XP の場合)

- (1) 「DrvInst」フォルダ内「LtusbDrvInst.exe」を起動後、「参照」ボタンで「DRIVER」フォルダを指定し「Install」ボタンをクリックしてください。USBドライバがインストールされます。(または、「DRIVER」フォルダ内の setup.exe を直接実行してください。)
- (2) 『LOCK STAR-PSU』を USB ポートに接続すると、新しいハードウェアの認識が自動的に行われドライバのインストールが完了します。**複数の USB ポートが装備されている場合は、全てのポートでハードウェアの認識処理を実行してください。**
- (3) 使用方法・目的に応じてユーティリティ CD-ROM よりdllファイルをパソコンのハードディスクにコピーして下さい。(第 2 章 Windows 編参照)

注1) 『LOCK STAR-PSU』ドライバが正常にインストールされ、本体を USB ポートに接続するとデバイスマネージャの USB コントローラに「LOCK STAR-USB 3.x」と認識されます。万が一、正常に認識されない場合は USB ポートの設定を確認して下さい。

例: Windows98 での確認方法

「スタートメニュー」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブ選択→「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の表示を確認

第 2 章

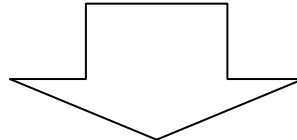
【 Windows 編 】

§ 1	作業の手順	P12
§ 2	コードの設定	P13
§ 3	WLINK、LTPManager を使用したコピープロテクトについて	P18
§ 4	Windows でユーティリティを使用する場合の注意	P21
§ 5	DLL コールによる API 組み込みによるコピープロテクトについて	P22
§ 6	デモファイルの解説	P23
§ 9	『LOCK STAR-PS』から『LOCK STAR-PSU』への移行手順	P28
§ 10	Windows に於けるチェック手順のフローチャート	P29

2-1.作業の手順

ユーザーコードの設定を行う

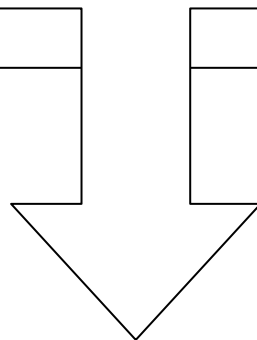
ユーザーコード設定ユーティリティ『LTPSETUP.EXE』を使用してユーザーコードを設定します。(13 ページ参照)



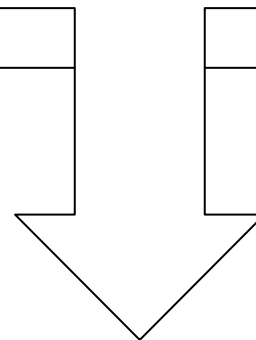
コピープロテクトをかける

ダイレクトユーティリティ
『WLINK16、32
LTPManager』を使用して
コピープロテクトをかける。
(18 ページ参照)

DLL コールにより
コピープロテクトをかける
(22 ページ参照)



プロテクトをかけた
プログラムを配布する
(20 ページ参照)



プロテクトをかけた
プログラムを配布する
(22 ページ参照)

2-2.ユーザーコードの設定

(ユーザーコード設定ユーティリティ『LTPSETUP.EXE』の操作手順)

『LTPSETUP.exe』は、『LOCK STAR-PS/PSU』本体に対して、Windows の環境下でI.D (暗証番号)を設定するプログラムです。

(1)LTPSETUP.EXE セットアップ手順

- ①PC本体に『LOCK STAR-PS』『LOCK STAR-PSU』を取り付けます。
- ②『LOCK STAR-PS』をパソコンで使用する為の仮想デバイスドライバを以下の手順でインストールして下さい。

・Windows95/98/Me の場合

ユーティリティ CD-ROM の¥win¥vxd¥ltcps95. vxd・ltcps98. vxd のファイルを ¥Windows¥system のフォルダにコピーします。

・WindowsNT4.0/2000/XP の場合

ユーティリティ CD-ROM の¥win¥NTsys32¥ltPSETUP. sys のファイルを¥winnt¥system32 のフォルダにコピーします。

※『LtPSETUP.exe』は起動時・終了時に WindowsNT4.0 からのドライバの登録削除を自動的に行います。(Windows2000/XP は不可)

- ③『LOCK STAR-PSU』をご使用になる場合は、ドライバをインストールして下さい。(10 ページ参照)

- ④『LtPSETUP.exe』を起動します。

ユーティリティ CD-ROM から直接 win¥setup32¥LtPSETUP.exe を起動できます。
ハードディスク等にコピーしてお使いの場合はユーティリティ CD-ROM から win¥setup32¥LtPSETUP.exe・Ltpsset32.dll を同一のフォルダへコピーしてお使い下さい。

・Windows2000/XP で実行する場合は、『ADMINISTRATOR』でログインして下さい。

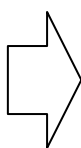
・Windows95/NT4.0 で実行する場合

win¥setup32¥95nt_setup¥ LtPSETUP.exe・Ltpsset32.dll を使用してください。
使用方法は Windows98/Me/2000/XP と同様です。

(2) LTPSETUP.EXE の起動

エクスプローラより『LTPSETUP.EXE』のアイコンをダブルクリックし、起動します。

以下の初期画面が表示されますので『LOCK STAR-PS』『LOCK STAR-PSU』を接続するポートを選択し、カンパニーID とパスワードを入力します。(初回出荷時の『LOCK STAR 発送の件』に記載)



接続するポートを選択して、リターンキーか「OK」をクリックします。

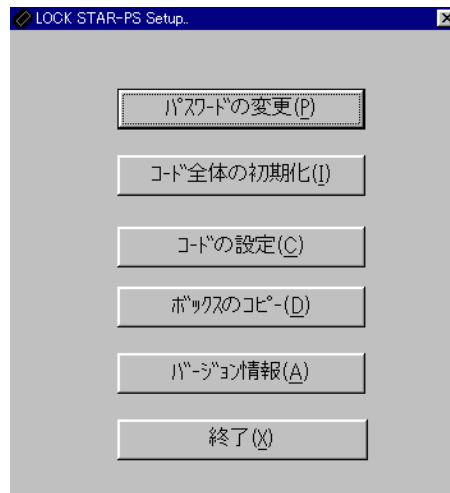
* カンパニーID は変更できません。

カンパニーI.D.(8ケタ)を入力した後、タブキーかマウスでパスワード(8ケタ)のフィールドに移動します。

全て入力が終わったら、リターンキーか「OK」をクリックします。

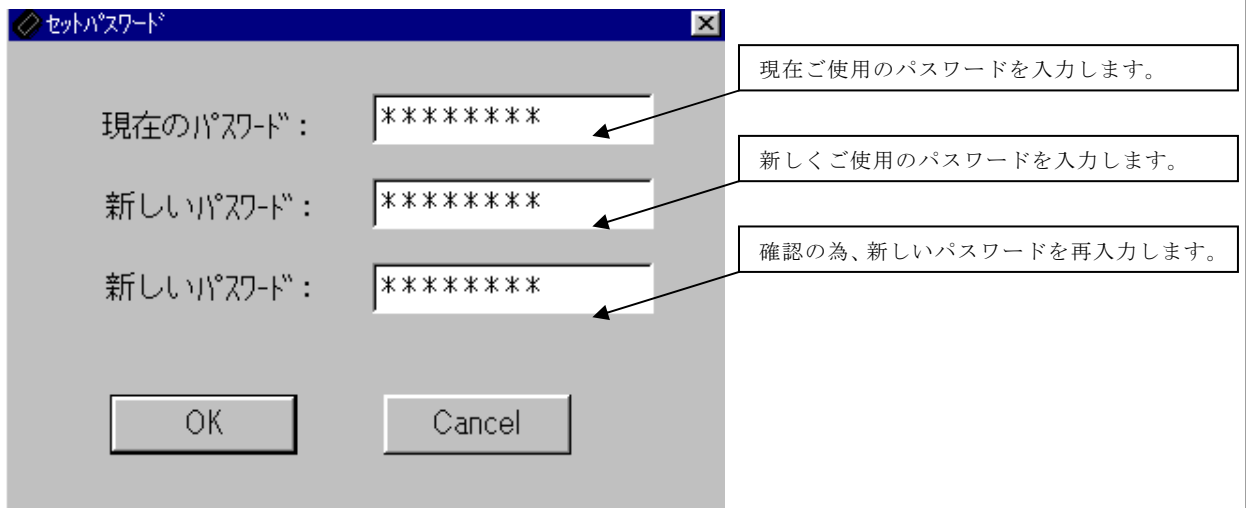
(3)メインメニュー

初期画面でカンパニーIDとパスワードの入力が確認されると、セットアップのメインメニューが表示されます。



(4)パスワードの変更

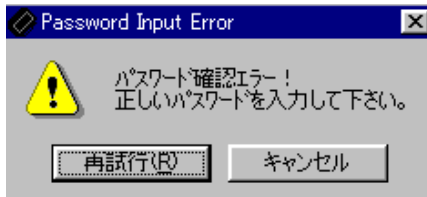
このメニューは、初期画面で入力したパスワードを変更する場合に使用するものです。次の画面で新・旧のパスワードを入力します。



- ① 8桁の半角英数字を入力します。
- ② 入力欄の移動はタブキーで行います。
- ③ 上位4ケタと下位4ケタとが同じ数字にならないように注意して下さい。
(良い例: 12341235 / 悪い例: 12341234)
- ④ 入力欄の英数字はすべて * で表示されます。
- ⑤ 入力可能な文字は半角数字と半角英字 A~F までです。
- ⑥ 新しいパスワードが8桁に満たない場合は以下のメッセージが表示されます。



⑦確認用の新しいパスワードの入力が間違った場合以下のメッセージが表示されます。

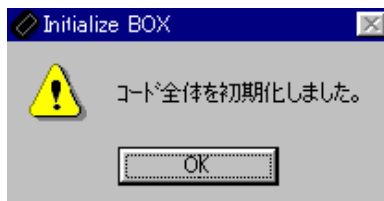


⑧パスワードの変更が成功いたしますと以下のメッセージが表示されます。



(5)コード全体の初期化

このメニューでは、次のメニューの「コードの設定」で設定された内容を初期値(インシャルズ)に戻します。メインメニューのボタンをクリックすると、初期化がスタートします。



(6)ユーザーコードの設定

「ユーザーコードの設定」は、最大30種類、設定／変更できます。設定IDを入力して「ライト」をクリックすると設定されます。

任意のコードを入力します。

NO	CODE	RET CODE	NO	CODE	RET CODE	NO	CODE	RET CODE
1	1234	0000	11	0000	0000	21	0000	0000
2	0000	0000	12	0000	0000	22	0000	0000
3	0000	0000	13	0000	0000	23	0000	0000
4	0000	0000	14	0000	0000	24	0000	0000
5	0000	0000	15	0000	0000	25	0000	0000
6	0000	0000	16	0000	0000	26	0000	0000
7	0000	0000	17	0000	0000	27	0000	0000
8	0000	0000	18	0000	0000	28	0000	0000
9	0000	0000	19	0000	0000	29	0000	0000
10	0000	0000	20	0000	0000	30	0000	0000

ライト(W) Exit(X)

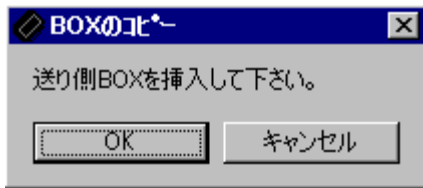
- ①入力可能な文字は半角数字と半角英字 A～F までです。
- ②入力欄の移動はタブキーで行います。
- ③IDの入力が完了したら『ライト(w)』のボタンをマウスでクリックして下さい。
以下のメッセージが表示されます。



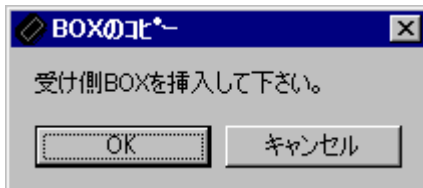
- ④終了する場合は『Exit(X)』のボタンをマウスでクリックして下さい。

(7)ボックスのコピー

このメニューでは、マスターとなるボックスのパスワード・コード・リターンコードを他のボックスにコピーします。



ここでは、マスターのBOXがパソコンにつながっていることを確認します。



ここで新しいBOXに差し替えて「OK」を押すとマスターの内容がコピーされます。
(カンパニーID等が違う場合は、コピー不可)

(8)バージョン情報

ここではユーティリティのバージョン情報を表示します。



(9)終了

このキーをクリックしたら、ユーティリティを終了します。

2-3.『LTPManager』『WLINK*』を使用したコピープロテクトについて

(1)16ビット用ダイレクトリンクユーティリティ『WLINK16』のセットアップ

① PC本体に『LOCK STAR-PS』を取り付けて下さい。※『LOCK STAR-PSU』は使用できません。

②仮想デバイスドライバをインストールします。

・Windows95/98/Me の場合

ユーティリティ CD-ROM の¥win¥vxd¥ltcps95.vxd・ltcps98.vxd のファイルを
¥Windows¥system のフォルダにコピーします。

・WindowsNT4.0/2000 の場合

ユーティリティ CD-ROM の¥win¥ntsys32 のフォルダから Krnlrps.sys のファイルを
¥winnt¥system32 のフォルダにコピーします。

* 『WLINK16.exe』は起動時・終了時に WindowsNT4.0 からのドライバの登録削除を自動的に行います。

③ユーティリティ CD-ROM¥win¥WLINK16 のフォルダから以下のファイルをコピープロテクトを行う実行形式(EXE 形式)ファイルと同一ディレクトリにコピーし、WLINK16.exe を起動します。

WLINK16.exe・Nt95dll.dll・W95t16.dll・Wpsdll16.dll・W95t32.dll

④コピープロテクトを行う実行形式ファイルの約 2 倍の空容量を確保して下さい。

(2)32ビット用ダイレクトリンクユーティリティ『LTPManager』『WLINK32』のセットアップ

①PC本体に『LOCK STAR-PS』または『LOCK STAR-PSU』を取り付けて下さい。

②『LOCK STAR-PS』を使用する場合は仮想デバイスドライバをインストールします。

・Windows95/98/Me の場合

ユーティリティ CD-ROM の¥win¥vxd¥ltcps95.vxd・ltcps98.vxd のファイルを
¥Windows¥system のフォルダにコピーします。

・WindowsNT4.0/2000/XP の場合

ユーティリティ CD-ROM の ¥WIN¥NTsys32 フォルダ内のファイルを以下の通り
コピーします。

Krnlrps.sys→¥winnt¥system32 へコピー

* 『WLINK32.exe』は起動時・終了時に WindowsNT4.0 からのドライバの登録削除を自動的に行います。

また、WindowsNT4.0/2000/XP でご使用される場合は『ADMINISTRATOR』でログインして下さい。

③『LOCK STAR-PSU』を Windows98/Me/2000/XP 上で使用になる場合は、ドライバをインストールして下さい。(10 ページ参照)

④LTPManager.exe の利用には、同一フォルダに **ltpsdll.dll** 及び、**Usbdll32.dll** が必要です。

WLINK32.exe の利用には、同一フォルダに **dll32.dll** 及び **Usbdll32.dll** が必要です

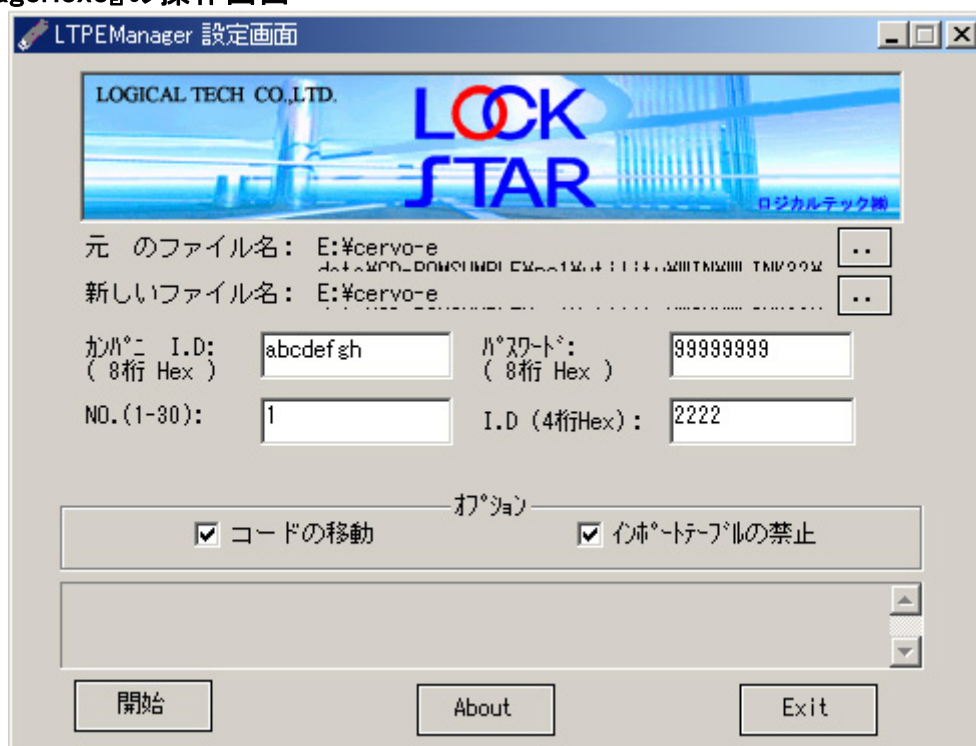
また、プロテクトをかけるファイルの実行に必要なファイルも必要になります。

⑤コピープロテクトを行う実行形式ファイルの約 2 倍の空容量を確保して下さい。

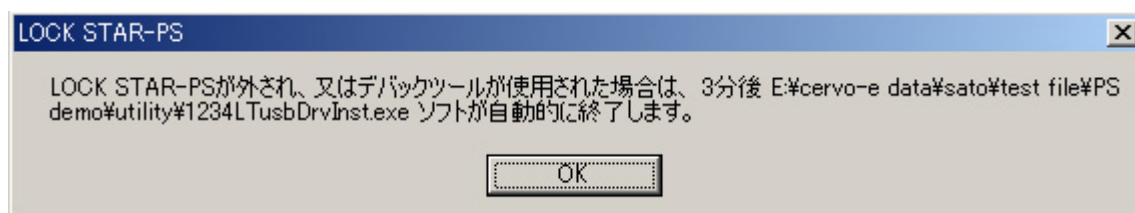
(3)『LTPEManager.exe』の操作

エクスプローラから『LTPEManager.exe』のアイコンをダブルクリックし起動します。

『LTPEManager.exe』の操作画面



- ①. 元のファイル名 : 右のボタンで参照しプロテクトをかける元のファイル名を入力します。
- ②. 新しいファイル名 : 同様に、プロテクトをかけて新しく作成するファイル名を入力します。
(元のファイル名と同じファイル名にすると元のファイルが消失します)
- ③. カンパニーI.D : 8桁のカンパニーI.Dを入力します。
- ④. パスワード : LTPSETUP で設定した8桁のパスワードを入力します。
- ⑤. No.: LTPSETUP で設定したユーザーコードの番号(1-30)を入力します。
- ⑥. I.D : LTPSETUP で設定したユーザーコードの4桁の設定 ID を入力します。
- ⑦. オプション: セキュリティの設定です。デフォルトでのご利用をお勧めします。
- ⑧. 開始: プロテクトファイルを作成します。
- ⑨. About : バージョン情報を表示します。
- ⑩. Exit : 終了します。
- ⑪. 確認 : LTPEManager によるプロテクトが成功すると、LOCK STAR-PS
LOCK STAR-PSU をパソコンに接続していないと、エラーメッセージが表示されアプリケーションは
起動しなくなります。
- ⑫. チェック時間 : プロテクトしたファイルの実行中に、5分毎に LOCK STAR-PS
LOCK STAR-PSU の有無をチェックする機能が自動的に組み込まれます。チェック時に
LOCK STAR-PS 、LOCK STAR-PSU をパソコンに接続していないと、下記エラーメッセージが
表示され、3分後にプログラムは終了します。



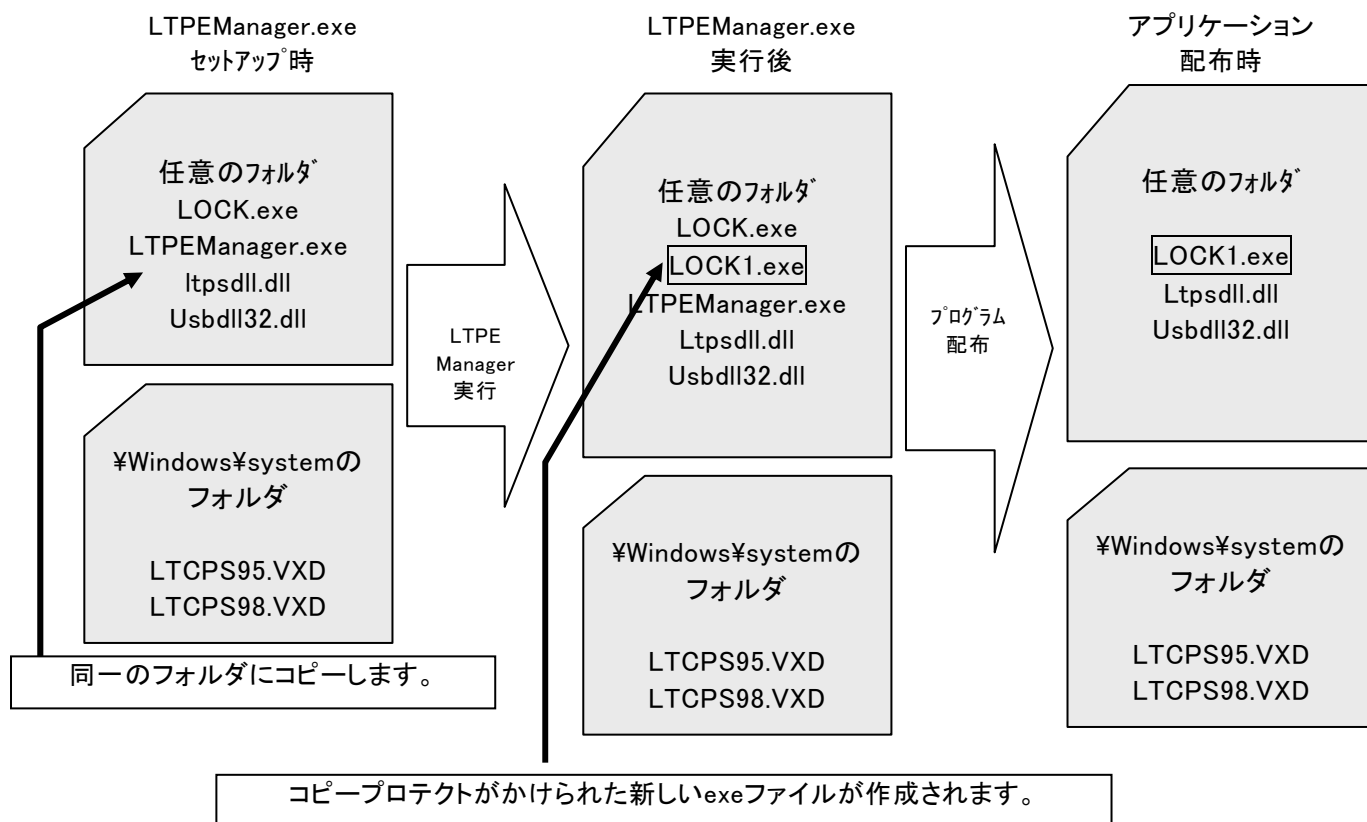
(4)『WLINK16.exe』でプロテクトを行ったファイルの配布

- ①プロテクトをかけたプログラムをエンドユーザー等に配布する場合は『WLINK16.EXE』の使用時と同じ dll ファイルをユーザアプリケーションのカレントフォルダにコピーして下さい。(18 ページ参照)
- ②仮想デバイスドライバも同時に配布して、インストールして下さい。(18 ページ参照)

(5)『LTPEManager.exe』『WLINK32.exe』でプロテクトを行ったファイルの配布

- ①プロテクトをかけたプログラムをエンドユーザー等に配布する場合は『LTPEManager.exe』、『WLINK32.exe』の使用時と同じ dll ファイルをユーザアプリケーションのカレントフォルダにコピーして下さい。(18 ページ参照)
- ②仮想デバイスドライバ・LOCK STAR-PSU ドライバも同時に配布して、インストールして下さい。(10・18 ページ参照)

例: WINDOWS98 で 20 ページ『LTPEManager.exe』の操作画面の場合での流れ
(LOCK STAR-PS25 を使用する場合)



※LTPEManager でプロテクトファイルがうまく作成できない場合は、WLINK32をお試しください。
使用方法は、LTPEManager の操作方法とほぼ同様です。異なるのは、パスワードの入力が上位4桁になる点と、チェック時間が設定されない点、【開始】のボタンが【Lock】になる点などです。

2-4.WINDOWS でユーティリティを使用する場合の注意

- 1.「PSETUP.exe」で入力するカンパニーIDは、初回に添付された送付状に記載しています。
電話での問い合わせには応じかねますのでご了承願います。
- 2.「PSETUP.exe」で入力するパスワードは、初期値は「12345678(半角)」です。
よって、ご使用いただくときはセキュリティの為に、変更してご使用いただくことを推奨いたします。
- 3.各種ユーティリティは、全ての機種でテストを行ってはいません。
代表的なスペックの機種でテストしています。
したがって、動作しない場合は、動作する機種でご使用願います。
- 4.「WLINK」についてはオーバーレイで正常に動作しない、または BASIC・VISUAL BASIC で開発したプログラムに対応できない場合があります。このような場合は DLL コールでご使用(22 ページ参照)いただくか、ご相談願います。
- 5.「WLINK16」は『LOCK STAR-PSU』をサポート致しておりません。予めご了承下さい。
- 6.WindowsNT4.0/2000/XP で『LOCK STAR-PS』『LOCK STAR-PSU』をご使用の際、ADMINISTRATOR 権限でログインしないとドライバは OS に登録されません。(NT4.0 では LOCK STAR-PSU は使用不可です)
一般ユーザー権限にてご使用の場合は、一旦 ADMINISTRATOR 権限でログインしてドライバを OS に登録して下さい。
また、WindowsNT4.0 では「INSTDRV.EXE」を使用(27 ページ参照)して、任意にドライバを OS に登録削除することが可能です。

2-5.DLL コールによるコピープロテクトについて

『LOCK STAR-PS』は Windows95/98/Me/NT4.0/2000/XP 上で 16 ビット、32 ビットを、
『LOCK STAR-PSU』は Windows98/Me/2000/XP 上で 32 ビットをそれぞれサポートしています。
使用方法によって使用するファイルもフォルダごとに分けて提供しています。
また、DLL ファイルの使用方法はそれぞれのデモファイル(23~26 ページ参照)を参照願います。

(1) Windows95/98/Me で 16 ビットを使用する場合 (LOCK STAR-PS のみ)

¥win¥demo¥pswin16.C (Visual Basic の場合は psvb32.txt) を参照して、次のフォルダのファイルを使用して下さい。

- ① ¥win¥API16¥*.*
- ② ¥win¥vxd¥*.*(¥Windows¥system に入れて使用して下さい。)

(2) Windows95/98/Me で 32 ビットを使用する場合

¥win¥demo¥pswin32.C (Visual Basic の場合は psvb32.txt) を参照して、次のフォルダのファイルを使用して下さい。

- ① ¥win¥API32¥*.*(必須ファイル Usbdll32.dll)
- ② LOCK STAR-PS を使用の場合: ¥win¥vxd¥*.*(¥Windows¥system に入れて使用して下さい。)
- ③ LOCK STAR-PSU を使用の場合: ドライバをインストールして下さい。(Windows95 では使用不可)

(3) WindowsNT4.0/2000/XP で 16 ビットを使用する場合 (LOCK STAR-PSU は使用不可)

¥win¥demo¥pswin16.C (Visual Basic の場合は psvb32.txt) を参照して、次のフォルダのファイルを使用して下さい。

- ① ¥win¥API16¥*.*
- ② ¥win¥NTsys32¥ Krnl drps. sys(¥winnt ¥system32 フォルダにコピーして使用して下さい。)

(4) WindowsNT4.0/2000/XP で 32 ビットを使用する場合

¥win¥demo¥pswin32.C (Visual Basic の場合は psvb32.txt) を参照して、次のフォルダのファイルを使用して下さい。

- ① ¥win¥API32¥*.*(必須ファイル Usbdll32.dll)
- ② LOCK STAR-PS 使用の場合
¥win¥NTsys32¥ Krnl drps. sys → ¥winnt ¥system32 フォルダへコピー
- ③ LOCK STAR-PSU を Windows2000/XP で使用の場合
専用 USB ドライバをインストールして下さい。(WindowsNT4.0 では使用不可)

*WindowsNT4.0/2000/XP 上では wpsdll32.dll 等の共通関数は使用するポートにより呼び出しのみを行い
実際は使用しないケースがございます。

dllが呼び出しのみの場合: WINDOWS NT4.0(シリアル・パラレル)
WINDOWS 2000/XP(シリアル)

(5) プログラムの配布

エンドユーザー先にプログラムを配布する場合、それぞれの OS で使用したdllファイル・仮想デバイス
ドライバをエンドユーザー先の下記のフォルダにインストールして下さい。

DLLファイル: ユーザーアプリケーションと同一のフォルダ

USB ドライバ: PnP でインストールされます。

(Windows98/Me/2000/XP で LOCK STAR-PSU を使用する場合)

VXDファイル: ¥Windows¥system のフォルダ

(Windows95/98/Me で LOCK STAR-PS を使用する場合)

KRNLDLDRPSファイル: ¥winnt ¥system32 のフォルダ

(WindowsNT4.0/2000/XP で LOCK STAR-PS を使用する場合)

2-6. デモファイルの解説

(1) pswin32.c デモファイル(その 1)

```
#include <Windows.h>

//----- for C++ -----
//extern "C" {
//    int APIENTRY ①PSBOXIO(int,int,int,int,int,int,int,int *);
//}
//-----

//----- When you use w95dll32.dll -----
//int APIENTRY RSBOXIO(int,int,int,int,int,int,int,int *);

//----- When you use wpsdll32.dll -----
int APIENTRY PSBOXIO(int,int,int,int,int,int,int,int *);

int    check_box(int);

//----- lock star paramater section -----
//-- COMPANY I.D = 11111111
//-- PASSWORD I.D = 12345678

int    ②PortNo;    // COM1=0 , COM2=1, COM3=2, COM4=3, PRINTER=4, USB=5
int    ③did=0x1111,④comp=0x1111,⑤area=0x1234,⑥no=0,⑦id=0;
int    ⑧nRet=0;    // Return DATA
int    nStat;      // Return Error flag
int    ⑨sw=0;      // 0:Set Driver,-1>Delete Driver
//-----
```

- ①PSBOXIO() ----関数
- ②PortNo ----ポートナンバー、シリアルポートNEC/9821:0~2、DOS/V:0~3、パラレルポート:4
USBポート:5
- ③did ----カンパニーI.Dの上位4ケタ
- ④comp ----カンパニーI.Dの下位4ケタ
- ⑤area ----PASSWORDの上位4ケタはハードフラグ、下位4ケタはライトフラグです。(12345678)
- ⑥no ----BOXの使用するナンバー(1~30)
- ⑦Id ----ボックスのCODE
- ⑧nRet ----リターンコード
- ⑨SW ----WINDOWSNT4.0でドライバーを削除するかどうかのパラメータ
(WINDOWSNT4.0へのドライバ(krnldrps.sys)の組込みは、プログラム上で自動的に
行いますが、削除に関しては関数のパラメータによりユーザーが自由に設定できま
す。セキュリティを高める目的で、ユーザープログラム開始時に組込んで、終了時に
削除することも可能です。但し、この場合は毎回インストールとアンインストールの時
間が付加されます。
また、PCをネットワークで使用している場合は、ユーザーが「ADMINISTRATOR」で
ログインしないとインストール又はアンインストールできません。

(1)pswin32.c デモファイル(その 2)

```

char    sBuff[200];

int WINAPI WinMain(HINSTANCE hthisInst, HINSTANCE hPrevInst,
                  LPSTR lpszArgs, int nWinmode)
{
    int    i,j;

    MessageBox(GetActiveWindow(), "LOCK STAR-PS TEST 32", "", MB_OK);

    //----- Only Check COM0,COM1,PRINTER Port -----
    {
        no=0; // High speed Flag no=0
        for(i=0;i<3;i++){
            for(j=0;j<3;j++){
                if(i==2) i=4;
                nStat = PSBOXIO(did,comp,area,no,id,i,sw,&nRet);
                if(nStat>0x20 && nStat<=0x24){
                    wsprintf(sBuff," Drive set Error in NT =%x ",nStat);
                    MessageBox(GetFocus(),sBuff,"",MB_OK);
                    return 0;
                }
                if( nStat!=1 && nStat!=0x31){
                    check_box(i);----- →
                    return 0;
                }
            }
        }
        wsprintf(sBuff," Please Set BOX =%x ",nStat);
        MessageBox(GetFocus(),sBuff,"",MB_OK);
        return 0;
    }

int    check_box(int PortNo)
{
    int    i;

```

ポートチェックを行います。
 デモプログラムでは COM0・COM1
 PRT しかチェックしていません。
 なお、各ポートのチェック回数は 3 回
 を推奨します。

ポートチェックを抜けたら ID のチェック
 を行います。

(1)pswin32.c デモファイル(その 3)

```
//----- Write / Read data to Box -----
for(i=0;i<3;i++){-----→3回チェックを推奨します。
    area=0x5678;           // Write Flag
    no=1;
    id=0;
    nRet=0xffff;
    nStat = PSBOXIO(did,comp,area,no,id,PortNo,sw,&nRet);
    if( nStat){
        wsprintf(sBuff," Return Status =%x ",nStat);
        MessageBox(GetFocus(),sBuff,"",MB_OK);
    }

    no=1;
    id=0;
    area=0x1234;         // Read Flag
    nStat = PSBOXIO(did,comp,area,no,id,PortNo,sw,&nRet);
    if( nStat==0 ){
        wsprintf(sBuff," Return Code =%x ",nRet);
        MessageBox(GetFocus(),sBuff,"",MB_OK);
        break;
    }
    else {
        wsprintf(sBuff," Return Status =%x ",nStat);
        MessageBox(GetFocus(),sBuff,"",MB_OK);
    }
}
return 0;
}
```

Id と nRet の Data
を BOX の No1 の
CODE と Ret CODE
にライトします。

BOX の No1 の CORD
をチェックし、Ret CORD
を取得します。

(2)Psvb32.txt デモファイル

```
'-----For MODULE File *.bas -----
'----- For 16bit -----
Declare Function PSBOXIO Lib "WPSDLL16.DLL" (ByVal did As Integer,
        ByVal comp As Integer, ByVal area As Integer, ByVal no As Integer,
        ByVal id As Integer, ByVal PortNo As Integer,
        ByVal sw As Integer, dat As Integer) As Integer

'----- For 32bit -----
Declare Function PSBOXIO Lib "WPSDLL32.DLL" (ByVal did As Integer,
        ByVal comp As Integer, ByVal area As Integer, ByVal no As Integer,
        ByVal id As Integer, ByVal PortNo As Integer,
        ByVal sw As Integer, dat As Integer) As Integer

'-----DATA 定義 -----
Dim did, comp, area, no, id, sw, PortNo, ret, dat As Integer
did = &H1111←-----カンパニーIDの上位4ケタ
comp = &H2222←-----カンパニーIDの下位4ケタ
area = &H1234←-----PASSWORDの上位4ケタはハードフラグ、下位4ケタはライトフラグです。
        (12345678)
sw=0←-----WINDOWSNT4.0でドライバーを削除するかどうかのパラメータ
id = 0←-----ボックスのCODE
dat = 0←-----リターンコード
'-----For FORM File -----
sub Check_port()

    no = 0      'For Speed check no=0
    ret = 0
    For i = 0 To 2
        If (i = 2) Then i = 4
        ret = PSBOXIO(did, comp, area, no, id, i,sw,dat)
        If ret = 0 Or (ret >= 2 And ret <= 5) Then
            Call Cechk_box(i)
            Exit Sub
        End If
    Next i
    Print "ERROR STATUS ="; ret
End Sub

Sub Cechk_box (PortNo)
    no = 1      'Check Box number 1
    id = 0
    ret = 0
    dat = 0
    ret = PSBOXIO(did, comp, area, no, id, PortNo, sw, dat)
    If (ret = 0) Then
        Print "BOX DATA : "; Hex$(dat)
    Else
        Print "ERROR STATUS"; ret
    End If
End Sub
```


2-9.『LOCK STAR-PS』から『LOCK STAR-PSU』への移行手順

すでに LOCK STAR-PS をご使用のユーザー様は LOCK STAR-PSU 使用の際、以下の手順にて移行作業を進めて下さい。

①「LOCK STAR-PS」から「LOCK STAR-PSU」への移行手順

1. 現在使用している DLL・SYS ファイルを最新バージョンに上書きします。
 - ①「WLINK32」をご使用の場合：dll132.dll を、「LTPEManager」をご利用の場合：ltpsdll.dll をユーザアプリケーションのカレントフォルダへコピー
 - ②DLL コールでご使用の場合：wpsdll132.dll もしくは w95dll132.dll をユーザアプリケーションのカレントフォルダへコピー
2. 以下のファイルをユーティリティ CD-ROM よりコピーします。
カレントフォルダへ：Usbdll132.dll
3. LOCK STAR-PSU ドライバをインストールします。(Windows98/Me/2000/XP 使用時)
4. DLL コールでご使用の場合、アプリケーションプログラムに USB ポートチェック
(ポート番号：5) を追加します。(24 ページ参照)

②「LOCK STAR-USB」から「LOCK STAR-PSU」への移行手順

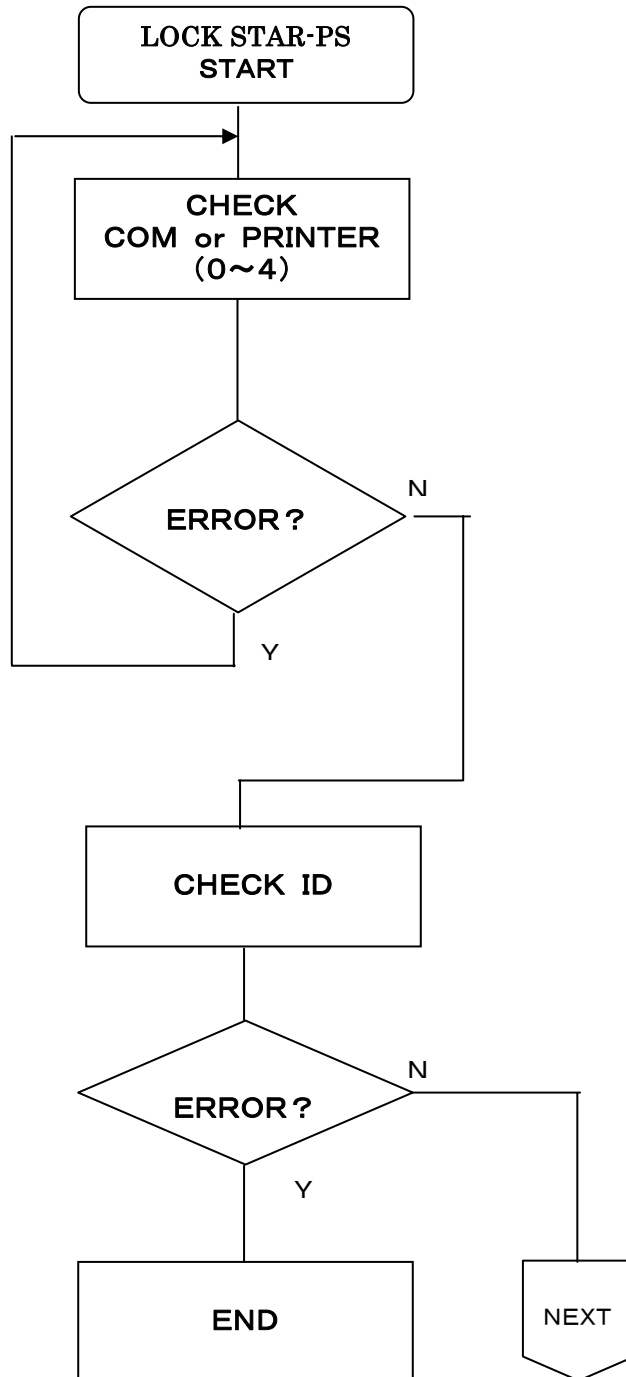
1. 現在使用している DLL・SYS ファイルを最新バージョンに上書きします。
 - ①「WLINK32」をご使用の場合：dll132.dll を、「LTPEManager」をご利用の場合：ltpsdll.dll をユーザアプリケーションのカレントフォルダへコピー
 - ②DLL コールでご使用の場合：wpsdll132.dll もしくは w95dll132.dll をユーザアプリケーションのカレントフォルダへコピー
 - ③USB インターフェース Usbdll132.dll をカレントフォルダへコピー
3. LOCK STAR-PSU ドライバをインストールします。(Windows98/Me/2000/XP 使用時)

2-10.WINDOWS におけるチェック手順のフローチャート

WINDOWS におけるチェック手順は次のとおりです。
(バージョンは1.7からです)

●チェックフロー

PSBOXIOのコール回数は3回以上を推奨致します。(3回のコールで1回でもOKの場合は抜けるようにします。)



付 録

【LOCK STAR-PS エラーコード表】

エラーコード	内容	対応策
ERROR 1	カンパニーI.Dの上位4桁の照合エラー (《LOCK STAR-PS》の未接続)	<ul style="list-style-type: none"> ・《LOCK STAR-PS》がシリアル、又はパラレルポートに正しく接続されているか確認して下さい。 ・各ポートがアクセス可能な状態か確認して下さい (パソコンのBIOS, デバイスマネージャ等をチェックして下さい。) ・パソコンのスタンバイモード(省電力機能)を使用している場合、設定を解除して下さい。
ERROR 2	カンパニーI.Dの下位4桁の照合エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムで記したカンパニーI.Dが正しいかどうかをチェックして下さい。
ERROR 3	パスワードが上位4桁、又は下位4桁と一致しない照合エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・入力したパスワードが正しいかどうかをチェックして下さい。
ERROR 4	ボックスのコード照合エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムで記したコードと、『LTPSETUP・EXE』で設定したボックスのコードが一致しているかどうかをチェックして下さい。
ERROR 5	ボックスのロット番号(no)設定エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムで記したボックスの No をチェックして下さい(設定範囲は1-30)
ERROR 6	RS232C(comNo)ポート番号の指定エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムで記したport番号をチェックして下さい。(設定範囲0-3)
ERROR 49 (Hex 31)	データのリードエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートが存在するかどうかをチェックして下さい。 (『コントロールパネル』→『システム』→『デバイスマネージャ』で確認して下さい。) ・各ポートがアクセス可能な状態か確認して下さい (パソコンのBIOS, デバイスマネージャ等をチェックして下さい。) ・パソコンのスタンバイモード(省電力機能)を使用している場合、設定を解除して下さい。
ERROR32~36 (Hex20~24):	Windows NT上でドライバのインストール、OPEN、削除のエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・Administratorで再Loginして下さい。
ERROR 153 (Hex99):	Windows でRS232Cポートの設定エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムで記したポートの設定をチェックして下さい。 (範囲0-3)
ERROR-1 (Hexffff):	Windows でRS232CポートのOPENエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・RS232Cポートが他のソフトに使用されているかどうかをチェックして下さい。
ERROR 64 (Hex40)	プリンタの用紙エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタの用紙をチェックして下さい。
ERROR 4098 (Hex1002):	VXDのOPENエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・LTCPS95.VXD・LTCPS98 が Windows の SYSTEMフォルダにコピーされているかチェックして下さい

◎その他のエラーは、別途お問い合わせ願います。

【LOCK STAR-PSU エラーコード表 (HEX)】

エラーコード	内容	対応策
ERROR5501	LOCK STAR-PSU 未接続	LOCK STAR-PSU が USB ポートに正しく接続されているか確認して下さい。
	USB ポートのエラー	USB ポートが使用可能か確認して下さい。 (LOCK STAR-PSU 本体のランプが点灯しているかを確認して下さい。)
ERROR5502	Read・Write のエラー	読み込み・書き込みが正常に実施されません。 ドライバが正常にインストールされているかを確認して下さい。
ERROR5503	LOCK STAR-PSU のタイプの相違	ご使用の LOCK STAR-PSU のタイプ(スタンドアロン・ネットワーク対応等)が違います。 正しいタイプを再接続して下さい。
ERROR5504	カンパニーID のエラー	カンパニーID が違います。 正しいカンパニーID を入力して下さい。
ERROR5505	パスワードのエラー	パスワードが違います。 正しいパスワードを入力して下さい。
ERROR5506	ID(ユーザーコード)のエラー	ID(ユーザーコード)が違います。 正しい ID(ユーザーコード)を設定して下さい。
ERROR5507	No.(1~30)のエラー	No. (1~30)が違います。 正しい No. (1~30)を設定して下さい。

◎ その他のエラーは、別途お問い合わせ願います。

＜WLINK32 エラーコード＞

- 0x1001: ソースファイルをオープンできません
- 0x1002: Win32 サブシステムエラー,同一ディレクトリで作成してみてください
- 0x1003: Win32 サブシステムエラー,システム関係のプログラムを一旦終了して作成して下さい
- 0x1004: ファイル構造を認識できません
- 0x1005: PE ファイルではありません
- 0x1006~0x1008: 販売元に連絡して下さい
- 0x1009: 標準 PE ファイルではありません
- 0x1010: メモリオーバー、他のプログラムをクローズして下さい
- 0x1011: メモリエラー
- 0x1012: ソースファイルのリロケーションテーブルが見つかりません
- 0x1013: ソースファイルのコードセグメントが見つかりません
- 0x1014: リロケーションテーブルエラー
- 0x1015: Win32 の実行ファイルではありません
- 0x1016: ソースファイルにデバックオプションを含んでいます
- 0x1017: ソースファイルに多数のコードセグメントを含んでいます
- 0x1018: 新しいファイルをオープンできません
- 0x1019: 新しいファイルに書き込めません
- 0x1020: テストリリースでのエラー

◎その他のエラーは、別途お問い合わせ願います。

【使用上の注意】

- (1).パソコンと接続ケーブル、又は周辺機器の組合わせにより、動作しない又は対応できない場合がございます。
- (2).パソコンに LOCK STAR-PS を接続して使用する場合は、シリアルポート(RS-232C)の設定を「ON」(有効)にしてください。
- (3).LOCK STAR-PS にアクセス中、LOCK STAR-PS に接続されている機器の電源を入れたり、切ったりしないで下さい。
- (4).通信プログラムを使用する場合は、通信途中で、LOCK STAR-PS にアクセスしないで下さい。
- (5).通信プログラムにLOCKをかける場合は、LOCK STAR-PS をコールしてから必ずRS-232Cに対して再度コマンド設定を実行して下さい。
- (6).「WLINK」については、オーバーレイで正常に動作しない、またはBASIC・VISUAL BASIC で開発したプログラムで対応できない場合があります。
- (7).LOCK STAR-PS を変換コネクタを使用して接続する場合は、必ず全ピンストレートの変換コネクタを使用して下さい。(弊社 C09-25 推奨)
- (8).プロッタを使用する場合は、メーカー指定の純正ケーブルを使用するか、コンパチ配線のシールド付ケーブルを使用して下さい。
- (9).プリンタにより電源投入しないと動作できない場合があります。
- (10).PSBOXIOのコール回数は3回以上を推奨致します。(3回のコールで1回でもOKの場合は抜けるようにして下さい。)
- (11).LOCK STAR-PS パラレルポート接続時、プリンタ出力中に LOCK STAR-PS にアクセスしないで下さい。
- (12).パソコンとプリンターの組合わせ等によりうまく印刷しない場合があります。その場合は、ご相談下さい。
- (13).LOCK STAR-PS を本体に取り付ける時は、必ずパソコンの電源をOFFの状態に取り付けて下さい。
- (14).LOCK STAR-PS の動作不良とは、パラレルポート・シリアルポートのどちらに接続しても、正常に動作しないことを言い、一方のポートで動作しなくとも他方のポートで正常に動作する場合はこれに含まれません。予めご了承下さい。
- (15).USB ポートから RS232C、もしくはプリンターポートへの変換コネクタ装置等を介した LOCK STAR-PS の使用は出来ません。また、RS232C、もしくはプリンターポートから USB ポートへの変換コネクタ装置等を介した LOCK STAR-PSU の使用は出来ません。
- (16).BIOS の設定によりプリンタポート・シリアルポートで認識されない場合がございます。もし認識されない場合は BIOS の設定を変更するか、ご相談下さい。
- (17).WindowsNT4.0 上で LOCK STAR-PSU は利用出来ません。
- (18).LOCK STAR-PSU は 16 ビットアプリケーション・PSUTEST.EXE には対応致しておりません。
- (19).LOCK STAR-PSU をパソコンが認識しない場合は、認識可能な USB ポートに接続変更するか、USB ポートの設定を確認して下さい。
- (20).パソコンのスタンバイモード(省電力機能)をご使用の場合、LOCK STAR-PS が認識出来ない場合があります。そのような場合はスタンバイモードの設定を解除して下さい。

【製品紹介】

●**LOCK STAR-PS(25ピン)**

DOS/Vプリンタポート&PC98, DOS/V, FMRシリアルポート共用タイプのスタンダードモデル

【特徴】

- ◇世界初のパラレルポート(DOS/V)、シリアルポート(PC98・DOS/V)のどちらにも接続可能
- ◇異なるIDのものを3個まで連結した状態で使用可能
- ◇周辺機器の使用に影響を与えない完全スルー構造
- ◇設定ユーティリティは導入初期に無償で提供
- ◇カンパニーID 以外はユーザーが設定変更可能
- ◇ID コードは最大30種類設定可能

●**LOCK STAR-NW(25ピン)**

クライアント or サーバーでソフトウェアのライセンス管理を可能にしたネットワーク対応モデル

【特徴】

- ◇世界初のパラレルポート(DOS/V)、シリアルポート(PC98, DOS/V)のどちらにも接続使用可能タイプ。
- ◇LAN上で同時に、最大256本のプログラムを、さらに1本のプログラムにつき最大256台のクライアントを管理することが可能。
- ◇LAN上であれば、クライアント、サーバーの区別なくセットアップが可能。
- ◇設定可能範囲であればユーザーでライセンス管理数を設定可能。
- ◇対応プロトコル:TCP/IP, NetBIOS
- ◇異なるIDのものを3個まで連結した状態で使用可能
- ◇周辺機器の使用に影響を与えない完全スルー構造
- ◇設定ユーティリティは導入初期に無償で提供
- ◇カンパニーID 以外はユーザーが設定変更可能
- ◇ID コードは最大30種類設定可能

●**LOCK STAR-PSU(USBポート)**

DOS/V USBポートスタンダードモデル

【特徴】

- ◇USBポートに接続可能
- ◇DLLファイル、USBドライバを入れ替えるだけで既存 LOCK STAR-PS の環境がそのまま使用可能
- ◇設定ユーティリティは導入初期に無償で提供
- ◇カンパニーID 以外はユーザーが設定変更可能
- ◇ID コードは最大30種類設定可能

オプション

●**変換コネクタ**

C09-25(対象製品:LOCK STAR-PS, NW)

DOS/V用9ピン変換コネクタ

【トラブル時の連絡方法】

トラブル時の早期解決の為に、次の事項をチェックしてご連絡いただければより早く対応できます。
(最終ページのトラブルシートをご利用下さい)

1. トラブルの発生するタイミングや現象、発生するエラーを把握して下さい。
(LOCK STAR-PS をご利用の場合は、ユーティリティ CD-ROM の¥test¥Psutest.exe を使用してエラー番号を調査して下さい。操作説明は¥test¥Readme.TXT に記載いたしております。LOCK STAR-PSU には対応しておりません。)
2. LOCK STARの種類を特定して下さい。
 - LOCK STAR-PS25(新型・旧型)
 - LOCK STAR-NW
 - LOCK STAR-PSU
3. 接続機種の様式を調べて下さい。(PC及び周辺機器)
例.PC-9821V20とプリンターMJ1050V2
4. OS環境と貴社開発言語と貴社が使用している弊社の提供ファイルの名前とファイルの日付を調べて下さい。
5. 以上のデータで弊社へご連絡願います。また、貴社の E-mail アドレスをご連絡頂ければファイル転送時に更に早い対応が可能です。

TEL: 03-5496-0211(代)
FAX: 03-5496-0213

整理番号 PSU-

【トラブルシート】

ロジカルテック株式会社 行

平成 年 月 日

FAX:03-5496-0213

E-mail:support@logicaltech.co.jp

会社名: _____ 部署名: _____

担当者名: _____ E-MAIL: _____

T E L: _____ F A X: _____

- ・プロテクターの種類: LOCK STAR-PS 25ピンタイプ(旧タイプ:水色のケース)
- LOCK STAR-PS 25ピンタイプ(新タイプ:藍色のケース
或いは、コネクタに赤い斑点)
- LOCK STAR-PS 36ピンタイプ
- LOCK STAR-PSU(USBタイプ)

・開発言語とバージョン: _____ Ver. _____
 16ビット 32ビット

・ユーティリティのバージョン: Ver. _____ ご使用のDLL名と日付 _____

・パソコンのメーカー・機種:
 DOS/V系 _____ CPUのタイプ _____ MHz
 98系 _____ CPUのタイプ _____ MHz

・O S MS-DOS WINDOWS NT WINDOWS 95 WINDOWS 98
 WINDOWS 98SE WINDOWS Me WINDOWS 2000 WINDOWS XP Home
 WINDOWS XP Pro サービスパック _____

・LOCKのかけ方 1.DLLコール 2.OBJリンク 3.WLINK*使用 4.LTPManager 使用

・使用しているポート
 RS232C COM1 COM2 COM3 COM4
 PRINTER USB

・他の接続可能なポートで試してみた YES NO
 結果:

・プロテクトに周辺機器が接続している YES NO
 接続機器名: _____

・トラブルの現象:

・エラー番号: _____



LOCK STAR-PS
LOCK STAR-PSU
リファレンスマニュアル VER.5.0

ロジカルテック株式会社
〒141-0031

東京都品川区西五反田 8-3-13
第二白川ビル 3F

TEL:03-5496-0211(代)

FAX:03-5496-0213

URL: <http://www.logicaltech.co.jp>

e-mail: support@logicaltech.co.jp